

京 図

きょうと

京都市図書館情報誌

ものがたり

関西から



図書館に行ってみよう!

vol.28

平成24年3月発行



グリム童話「灰かぶり」のストーリーテリング
(京都府立植物園にて)

あなたの好奇心に答える

目次

- 2 3 寄稿 「歩いて知ろう! 京のまち～
おすすめ史跡めぐりコース」
京都造形芸術大学客員教授 五島 邦治
- 4 5 特集 グリム童話 200歳
- 6 図書館の特色紹介 北図書館
- 7 図書館小特集 中央図書館 開館30周年記念事業
講演会『世界が注目 日本料理の秘密』の報告
- 8 利用者の声 子どもの頃に読んだ思い出の本
- 8 編集後記 私とグリム

歩いて知ろう！京のまち

おすすめ史跡めぐりコース

京都造形芸術大学客員教授

五島 邦治



ない小さい丘や池もある。これらも庭園の築山と池であろう。

京都御苑を朝の散歩コースにしておられる方も多からう。砂利道をざくざくと音を立てながら、左右に広い芝生や生い茂った樹木を眺めながら歩くのは、なかなか爽快である。

歩きながらふと思うことがある。松の姿が、いずれも老木で姿が美しいことである。京都御苑は、江戸時代の皇居（禁裏御所、つまり現在宮内庁が管理する狭義の京都御所）を取り囲むようにしてあった公家屋敷や門跡寺院の跡地で、明治の東京遷都以降、次第に空き地となったのを整備して公園としたものである。したがって古木の松は、かつてこれら公家屋敷内の庭園に植わっていたものに違いない。なるほどそういう眼で見れば、ところどころに思いがけ

備して公園としたものである。したがって古木の松は、かつてこれら公家屋敷内の庭園に植わっていたものに違いない。なるほどそういう眼で見れば、ところどころに思いがけ



京都御苑内の小丘

満に譲られ、金閣寺となった)、そこに音楽を司る弁財天女を安置し、妙音堂といった。白雲神社はその弁財天女を祀る神社で、江戸時代にこの地にあった西園寺邸内に移されたものである。

こんなふうには、京都御苑のなかにはたくさん神社が現在もあって、その多くはかつてその場所にあった公家邸宅に祀られていたものである。京都の人は信仰心が強くて律儀であったから、屋敷主が建物を引き払ってよその地に移っても、残された神社はたいせつにお守りし、お祀りしてきたのである。江戸時代の御所近辺の公家町の地図は、いくつか版本で残っているから、それをたよりに御苑を歩いてみると、まだまだ新しい発見があるかもしれない。

ここまでは、跡地であることが比較的良好にわかる京都御苑内での話であるが、民家に囲まれた街中でも同じような神社がある。たとえば、中京区御池高倉の東南角にある御所八幡神社は、もととはといえは室町幕府の初代將軍足利尊氏の邸内にあった神社である。室町幕府としては、三代の義満が上京に築いたいわゆる「花の御所」がよく知られているが、当初の幕府はこの

地にあり、義満から將軍を継いだ義持もこちらの方を幕府とした。これを下御所とよんでいる。足利氏は源氏であったから、石清水八幡を守護神とした。そのために邸内に八幡社



御池の八幡さん (御所八幡神社)

そのもつとも代表的で規模の大きいものが、御苑の南西にある九条池である。ここは九条家の邸宅の跡地である。したがって現在、池の中島にある厳島神社も、邸宅の中に祀られていたものである。厳島神社は、もともと広島県の宮島にあるのが本社であるが、九条家にも勧請して移されていたらしい。平清盛が移したという説はその後できたものである。社殿前の唐破風の石鳥居が有名である。池に迫り出して建つ拾翠亭も九条邸の遺構で、ときどき公開して中に入れてくれるが、ここから見る池の景色が何ともものどかでお勧めである。

御苑の北、今出川御門を入ったすぐ西にある池も、もともと近衛邸の池であった。九条家も近衛家も摂家といつて、摂政・



九条池

を祀ったのである。尊氏の没後に、邸宅は等持寺という寺院に改められ、八幡社もそこで祀られたらしい。ちなみに、上の室町幕府邸(花の御所)にも八幡社が設けられていたが、現在は「御所八幡町」という町名だけに残り、社殿の方は相国寺内に移されている。

もつと古い神社もある。中京区岩上六角下ルの中山神社は、もともと平安京の後院として設けられた冷泉院にあった神社である。後院というのは、退位した天皇(つまり上皇)のためにあらかじめ設けられた邸宅で、四町分の広大な敷地をもつ名邸であった。嵯峨天皇が退位して皇后橘嘉智子とともにまず移ったのが、この冷泉院である。当初は冷泉院といつたが、二度も火災にあったので、「然」の漢字の下の部位が「火」に通じるので、「泉」に変えられた。中山神社はその邸宅内の屋敷神で、「石上(神)明神」ともよばれた。冷泉院が荒廃してのちも社殿はあったらしいが、徳川家康が二条城を造るに際して、この地に移されたという。ちなみに、この神社の前の南北の通りを岩上通といふのは、この中山神社の別名から来ている。



中山神社

同じ後院の朱雀院に祀られていたのは、準神社であるが、こちらは現在の下京区四坊城角の元祇園神社の境内にあって、「はやぶさ」は「はやくさ」(丹毒のこと)と音が似ていることから、皮膚病を直してくれる神さまになつてくる。ちよつと強引な感じもする

関白に任じられる、公家でも筆頭の家柄であったから、その邸宅も比較的大きかった。残されたのは庭園の跡だけであるが、そこからその規模が想像される。



宗像神社

九条池の少し西北にも神社がある。宗像神社といふ。この神社もこの地にあった花山院という公家邸に祀られていた神社で、その由緒は平安時代にまでさかのぼる。嵯峨天皇の信頼を得た左大臣藤原冬嗣の邸宅で小一条院という名邸があり、そこで祀られていたのを、邸宅の焼失後西隣の花山院邸に移したという。平安時代の仮名で書かれた歴史書として有名な「大鏡」といふ本には、この小一条院はその後、冬嗣の曾孫にあたる忠平の所有になったが、息子たちが彼の所に来る途中、この宗像神社の前を通らなければならぬ、神前を畏んで、はるか前の道から牛車を降りて歩くのを見て、雨の日はかわいそうだというので、石畳の道に直した、ということがみえている。

宗像神社をもう少し北に行つたところ白雲神社がある。この神社は西園寺邸に祀られていた。鎌倉時代の公家西園寺公経は、北山に別荘を造つたのだが(これがのちに足利義



白雲神社

が、街の中にあつて土地の人々の素朴な内容の信仰に変化していくのはきわめて自然なことだろう。

江戸時代まであつた邸宅の跡ならともかく、千年以上むかしの邸宅に祀られていた神社が、邸宅がなくなつた現在までつづいているのはまさに驚異的であるが、その長い歴史の間にはきつとひととき衰退したり、再び日の目を見て復興したときもあつたに違いない。江戸時代には京都の史跡を探索、紹介した地誌や案内書が出版された。たとえば代表的なものに、大島武好の『山城名勝志』(一七〇五)や僧白慧の『山州名勝志』(一七一七)などがある。前者は史料主義で、古書を渉猟して史跡ごとに集めているのが特徴だし、後者はどちらかというと現地フィールド主義である。「土人に云く」とあるのは、土地の人はこのように言っている、という意味で、実際に現地を踏査したことがわかる。また秋里籬島の『都名所図会』(一八六二)は、史跡とともに風俗を描いた挿し絵がたくさん入っており、楽しい読み物である。いずれも活字になつていて、比較的容易に見ることができるところから(文庫本になつていないものもある)、こうした本を読んで、今はどうなつてきているのか、探し歩いてみるのも、密かな楽しみである。

史跡めぐりにおすすめの本

- 『山城名勝志』山州名勝志『都名所図会』は、『新修京都叢書』(臨川書院)に所収。「都名所図会」は、ちくま学芸文庫などにも入っている。
- 井上頼寿『改訂 京都民俗志』(平凡社・東洋文庫)
- 昭和初期の京都の史跡と風習を書き留めたものとして貴重。『竹村後則 昭和京都名所図会』全七巻(巖々堂出版)
- 挿し絵も著者。同じ著者の旧版『新撰京都名所図会』(白川書院)の挿し絵と比べて、その違いをみるのも楽しい。
- 瀧谷寿・加納重文・高橋康夫編『平安京の邸第一(望陵舎)』いずれも京都市図書館に所蔵しています。詳しくはお近くの京都市図書館におたずねください。

★丹毒…連鎖球菌が傷口からはいつて起こる急性・化膿性の炎症
★渉猟…あちらこちらと広くあさって歩くこと。転じて、多くの書物を読みあさること。(岩波国語辞典より)

グリム童話 200歳

『グリム童話』と言えば、世界中の子どもたちに愛され、日本でもよく知られている童話集です。ドイツのグリム兄弟が、人々が伝えてきた昔話を集め、文章に手を加えて『子どもと家庭のメルヘン集』というタイトルで出版しました。

今年は『グリム童話』が出版されてちょうど200年になります。この機会に、グリムの世界をのぞいてみませんか？

グリム兄弟とは？

兄ヤーコブ・グリムと弟ヴィルヘルム・グリムを指します。実はグリムは男5人の兄弟で、その下に1人の妹もいたのです。

2人はとても仲の良い兄弟でした。ずっと一緒に暮らしていましたが、ヤーコブの大学進学で初めて別々に暮らすことになりました。お互いがなくなったことを悲しんだ2人は、ほとんど毎日のように手紙のやりとりをしています。

ただ、2人の性格は全く違ったようで、兄ヤーコブは精力的で強引なタイプ。弟ヴィルヘルムはじっくり慎重派。なんでも一緒に二人でしたが、散歩だけは別々だったようです。ヤーコブはとっと歩き、ヴィルヘルムはゆっくり。お互いのリズムを尊重したのです。

小さい頃はどんな子どもだった？

兄弟の父は地方裁判所の裁判官でしたが、ヤーコブが11歳のときに病気で亡くなりました。母と子どもたちは小さな家に引越しなければならなくなり、生活は激変しました。ヤーコブとヴィルヘルムは学校の成績が極めて良かったために、伯母のところからギムナジウムに通うことになりました。ところが、田舎から来た子として一学年下のクラスに入れられてしまい、兄弟は大変悔しい思いをしました。2人はものすごい勢いで勉強をし、クラスで一番になり、すぐに進級することができました。また、兄弟の成績が本当に素晴らしかったため、校長が国王に嘆願し、高級官吏や高級軍人、高額納税者などの限られた階級の息子にしか許されていなかった大学への進学も認められたのです。

※ギムナジウム：大学への進学を希望する子どもたちが通う9年制の中等学校。

グリム兄弟年表

- 1785年 ヤーコブ・グリム生誕
- 1786年 ヴィルヘルム・グリム生誕
- 1796年 父 死去
- 1802年 兄ヤーコブ、翌年弟ヴィルヘルム、マールブルク大学進学
- 1808年 ヤーコブ図書館司書になる
- 1812年 兄弟初の共書「子どもと家庭のメルヘン集」出版
- 1830年 兄弟、ゲッティンゲン大学で役職に就く
- 1837年 兄弟、大学を迫られる（ゲッティンゲン七教授事件）
- 1838年 兄弟、ドイツ語辞典の編纂を始める
- 1854年 「ドイツ語大辞典」第1巻出版
- 1859年 ヴィルヘルム・グリム死去
- 1863年 ヤーコブ・グリム死去

※ゲッティンゲン七教授事件：前国王の採択した進歩的な民主憲法を、一方的に破壊したエルンスト・アウグスト王に対し、グリム兄弟を含む、進歩的な考え方のゲッティンゲン大学の7人の教授が連盟の意見書を提出し、王が激怒。国外追放、免職などの重い罪に問われた。

童話だけじゃない！

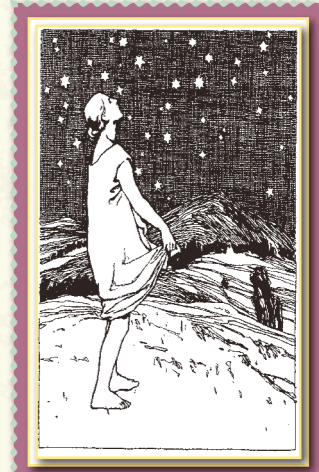
2人は童話以外にも数々の本を出版しています。特に現代のドイツ人にとっては、「ドイツ語辞典」の著者として広く知られています。この大辞典は1838年に兄弟が着手してから、実に123年もの長い時間をかけて完成しました。グリム兄弟から弟子へと編纂事業は引き継がれ、第二次世界大戦後にドイツが東西に分割されていたときでさえ、この事業だけは東西ドイツ共同で進められたということです。

また、この功績を称えて、統一後のドイツでは兄弟の肖像がお札に描かれるようになりました。最高額の1000マルク紙幣です。表には兄弟の肖像、裏にはドイツ語辞典が描かれているこの紙幣は、残念ながら現在のドイツでは流通していませんが、機会があればぜひ、探してみたいかが？

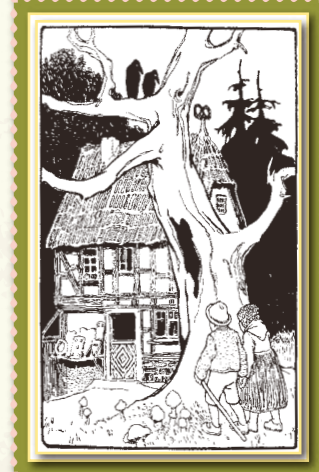
「シンデレラがはいていたのは“ガラスの靴”？ “金の靴”？」

シンデレラなどの昔話は世界中で似たようなお話があることがわかっています。グリム兄弟がドイツ人の語り手から聞いたお話の中にも外国の昔話に似たお話がありました。例えばグリム童話出版の約100年前にフランスで出版されたペローの「童話集」にも似たお話があり、あまりに似ている「青ひげ」「長靴をはいた猫」は第二版から削られました。下の表は3つのお話を簡単に比較したものです。あなたはどちらをご存知ですか。

	グリム童話(ドイツ)19世紀	ペロー童話集(フランス)17世紀末
シンデレラ	タイトル 灰かぶり 主人公の名 灰かぶり 馬車(の原型) なし 落とし物 金の靴	サンドリヨン サンドリヨン かぼちゃ ガラスの靴
眠り姫	タイトル いばら姫 結末 王子と王女が結婚して終わり	眠れる森の美女 王子と王女が結婚した後の話もあり
赤ずきん	タイトル 赤ずきん お見舞いの品 ケーキとワイン 結末 赤ずきんとおばあさんが狼に食べられ、猟師に救い出される	赤ずきん パンケーキとバター壺 おばあさんも赤ずきんも狼に食べられて終わり



星の銀貨



ヘンゼルとグレーテル

グリムを読むなら完訳で！

グリム童話は色々なものが出版されていますが、中には内容を改変したものもあります。本当のグリムに出会いたければ、ぜひ一度、完訳版を読んでみてください。

また、1812年のクリスマスに初版の第一巻が出版された後も、グリム兄弟はさらに収集活動を続け、収録するお話を削ったり増やしたりし、文体にも手を加え、版を重ねています。

初版は『初版グリム童話集』（吉原高志・素子訳、白水社）、第二版は『グリム童話 完訳』（小澤俊夫訳、ぎょうせい）、第七版は『グリム童話集 完訳』（金田鬼一訳、岩波書店）、『完訳グリム童話集』（野村滋訳、筑摩書房）、『完訳クラシックグリム童話』（池田香代子訳、講談社）などがあります。それぞれの訳文で味わいも違うので、比較しながら読んでみるのも楽しいかもしれません。

グリムを聞こう！グリムを語ろう！

グリム童話に収録されているお話の多くは、グリム童話が出版されるよりずっと昔から口承で伝えられてきたものです。そのため、目で読んでも楽しいですが、耳で語りを聞いてみると、さらに面白さが味わえます。今年はグリム童話出版200年記念で、全国のあちこちでグリム童話の語りの会が開かれます。機会があれば、ぜひ一度、グリムの語りを耳で味わってみてください。そして、子ども達とは、ぜひ、声に出して読んで、一緒に楽しんでください。

語りにむくように再話された本としては、『子どもに語るグリムの昔話』（佐々梨代子・野村滋訳、こぐま社）、『語るためのグリム童話』（小沢俊夫監訳、小沢昔ばなし研究所再話、オットー・ウベローデ絵、小峰書店）などがおすすめです。オットー・ウベローデの挿絵も素敵ですよ。

【参考文献】

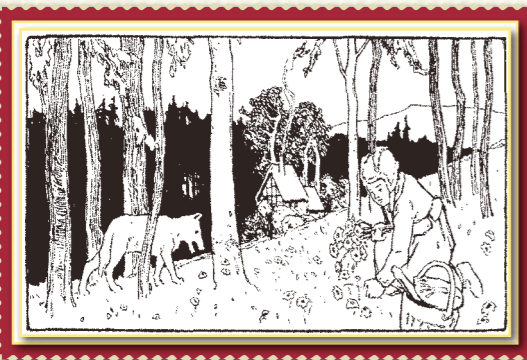
『グリム兄弟知られざる人と作品』ベルンハルト・ラウアー／著 淡交社、『グリム兄弟・童話と生涯』高橋健二／著 小学館、『グリム童話の誕生』小澤俊夫／著 朝日新聞社、『絵本・新編グリム童話選』（毎日ムック）毎日新聞社、『世界昔話ハンドブック』稲田浩二／編 三省堂、『ペロー童話集』シャルル・ペロー／著 新書館

【挿絵出典】

『語るためのグリム童話』①②③⑦
小澤俊夫／監訳 小沢昔ばなし研究所／再話 オットー・ウベローデ／絵 小峰書店



ブレーメンの音楽隊



赤ずきん



狼と七匹の仔山羊



白雪姫

～北図書館は昔も今もこれからも、 生活のあらゆるシーンで役立つ図書館を 目指しています～



昭和56年の北合同庁舎

市バス大徳寺前・旧雲林院の敷地内に位置する北図書館は、昭和56年12月20日に京都市合同福祉センターの2階に、福祉の殿堂施設として開館しました。近くには大徳寺、建勲神社、紫式部と小野篁の墓所（北大路堀川下ル）など、歴史好きの方にはたまらないスポットがあります。また区民の台所である新大宮商店街や北大路商店街にも近く、地域の方々には親しんでいただける便利な場所にあります。



みなさまと共に30年

開館30周年を迎えた北図書館では、昨秋の記念事業で「NPO 法人むむのこ」さんを迎え影絵や人形劇を行いました。

また30周年を振り返り地域の方々と地元への熱い思いを共有したいと、館内では『北区今昔写真展』を開催しました。事前にポスター等で写真募集を呼びかけたところ、反響は大きく住民の方々から貴重な写真100点が寄せられました。



新大宮商店街（オープニングパーティ）

中には“開館当初の北図書館”“昭和初期の新大宮商店街の写真”“市電が走る北大路堀川の光景”など地元ならではのものも含まれ、年配の方からは「あの頃の事、思い出しますなあ」、若い方からは「へえ、30年前ってこの辺、こんな



新大宮商店街（昭和初期）

んやったん？」と来館者同士、話の花が咲き、笑顔あふれる写真展となりました。

今後も市民とともにつくる図書館として、色々な企画を考えていこうと思います。

他にも当館司書と読み聞かせサークル「にじのこ文庫」さんが協力し、子育て中の大人対象に読み聞かせ講座を開催。「0・1・2歳にはどんな絵本を選ぶべき？」では絵本の紹介だけでなく、月齢にあった実演も行うとお母様方より「参考になったので早速借りて帰ります。」との声が掛かり、好評のうちに終える事ができました。

北区の資料を収集しています

地元の情報をまとめられたもの、書店では購入できない地元の資料をお持ちでしたら、是非、北図書館にご一報ください。

レスキューBOOK隊

～備えあれば憂いなし～

いざという時、慌てないためにあなたをお助けします！～

日本は気象の面でも、地形の面でも災害が起こりやすい国です。今回の東日本大震災を教訓に、さらに防災意識が高まっています。

京都市は、花折断層・榎原断層などの活断層が密集し、地震の発生が高い地域といわれています。また、在来の伝統的な家屋も多く、日頃から被害を少なくするため、自然災害に備える心構えや準備が必要です。

危険な場所・安全な場所はどこのか？火災の場合はどう対応すればよいのか？大人が子供たちに教え伝えるべきことは？

生活に役立つ図書館として、日頃より地元の「消防分団」や「自主防災会」のご協力のもと、その広報誌に「紙芝居 地震がきたら」「ちびまる子ちゃんのあんぜんえほん」「大震災そのときどうする」などの本も紹介しています。

現在、北図書館では、『防災・震災の関連図書特別展示コーナー』を常設しています。一人ひとりが考え行動する知識を得るために、是非一度図書館の本を手にとってみてください。



防災・震災図書展示コーナー

子ども向け行事のご案内

場所・紫野児童館（北図書館の下・1階）

★読み聞かせ会（赤ちゃん対象）

日時・奇数月の第1月曜日 午前11時～

★お楽しみ会（小学生対象）

紙芝居、読み聞かせ、工作など

日時・毎月第3土曜日
午前11時～



お楽しみ会（かるた取り）

「世界が注目 日本料理の秘密」

～子どもたちに食を通して伝え続ける我が町「京都」～



講師：京料理 萬重若主人 田村 圭吾 さん

プロフィール

昭和45年生まれ。萬重は西陣にある今年で創業76年の京料理の店で圭吾氏はその3代目。



日本料理と京料理

日本料理の中の京都の郷土料理を京料理といいます。その種類には神饌・有職・精進・懐石・家庭料理などがあり、各種混じりあって京料理は形成されています。余談ですがもともと京都では家庭料理のことをおまわり、おぞよと呼んでいました。おばんざいという言い方をよく耳にするようになったのは昭和30年代以降ではないでしょうか。

さて料理屋の仕事はただ単に食事を提供するだけではなく、お子さんが生まれはったら、食べ初め、入学祝い等、亡くなられたら法事などを裏方として料理で支えさせていただくのがつとめで、地域と密接に繋がっています。「おもてなし」の心を持って季節感やサービス・空間を提供するために、しきたり、食材の特徴など様々な事を理解していなければなりません。日本人は農耕民族で本当は集団で、力を合わせて頑張ろうというところがあります。ヨーロッパなどの狩猟民族とは意識にも違いがあり、伝統文化にも違いがあります。日本は四季を大切にしてきました。今では京都の花街でわずかに残るだけになってしまった、節分の“おぼけ”という行事をご存知ですか。10月の“ハロウィン”という外国の祭りは知っていても“おぼけ”を知っている人は少なくなりました。ただん日本の和の文化が失われていくのは寂しいですね。

食育活動で見えてきたもの

さて料理の話に戻しましょう。人間が食べ続けたいくなる3つの味は脂質・糖質・出汁です。この内、出汁だけが低カロリーなので、出汁をご飯や野菜に含ませて食べる日本食を食べればダイエットなど気にしなくて良いのです。元々日本食は炊きたての白いご飯に合うことで発達してきた食文化です。ただし日本人は保存食として「塩蔵」や「干物」などを含め、多くの食塩を摂取してきました。この事は体に良くないと減塩が進みました。そうすると今度は脂質の摂取が増え、白いご飯を食べずにおかずだけを食べる日本人が増えてきました。

私は今多くの食育関係者と情報交換をしますが、白米の炊ける匂いを不快だという子ども、また家でご飯を炊くのが面倒くさいという家庭が増えてきています。朝はパンとコーヒー・昼は給食・夜はハンバーグ・スパゲッティと日本食を食べない子どもたちが大勢現れています。私の祖父や親の世代が戦後日本の伝統もかなぐりすてて頑張ってくれたおかげで、日本は経済大国になりました。お金で様々な物を買えるようになりましたが、今や食料自給率は40%に低下しました。

1粒の米には7人の神様が宿っている

私は「1粒の米には7人の神様が宿っているから残したらあかん」と育てられました。しかし、今の子は「太るし食べへん」と平気で食べ物を捨てる。万物に八百万の神が宿ると考え、ものを大切に生きてきた日本人はどこへ行ってしまったのでしょうか。私はファーストフードやパンを否定している訳ではありません

ん。私の親父は「若い頃はハンバーグを食べてても40、50歳になったら自然と和食にもどるで」と申します。しかし、今の子どもたちの様に幼い頃から和食を食べずに育った世代は歳をとったからといって和食に戻ることはないと思います。今の50、60、70代の方が元気なうちに日本を日本の国に戻していかないと、日本が日本でなくなるという強い危機感を持っています。

もうひとつショッキングなエピソードをご紹介します。5年程前に市内の小学校に出前授業に行った時のことです。出汁を飲ますと「昆布の味がする」「かつおの味や」という子どもが殆どでしたが、ある子が「コンソメスープの味がする」と言いました。その子は家でお出汁の味を知らないから一番近いものとしてコンソメを挙げたのです。和食だけでなく、うどん、そばすらも食べない子どもたちが増えてきています。

何故こんなことになったのか。長年栄養価にばかり目を向けた結果、牛乳に味噌汁にごはんに中華サラダと、昔の日本では考えられなかった献立が供される様になりました。そして今、ご飯に味噌汁に焼き魚といった日本本来の食事をせず、食べたい時に好きなものだけを好きな様に食べる子どもたちが多くなってきています。

京都市の食育推進プラン

京都では門川市長が教育長時代に食育に力を注がれ「新・京・食育推進プラン」も策定されています。私が所属する日本料理アカデミーでは、食育部門に所属する会員が、京都市内において「日本文化の再認識と子どもたちに自らで生きる力を」という目的の元、「味覚」「食材」「料理」を通じて、「京野菜」や「お出汁」「食文化」など様々なことを伝えていきます。そのことが全国にも広がりを見せ始め、全国にいる会員が現地で、また我々京都のメンバーが各地で、会を超えて活動もしています。また京都市では市民から公募した「食育指導員制度」がスタートされており、その指導の一翼も担わせていただいています。

最後に ～次世代へ受け継いでいくもの～

京都は昔から地蔵盆など地域の人々が地域の子を共に育てる伝統があります。明治初期には各戸お金を出し合う籠金の発想で学校を建て、教育に力を注ぎました。駅伝と一緒に、ある世代だけ頑張っても文化は廃れます。「若い子に言うてもわからへんから言わへん」ではなく皆さんにも伝えて欲しい。京都人はよくプライドが高い、偉そうやと言われますが、その分皆さん努力されてきました。古い神社仏閣があるから世界の遺産ではない。町衆が建物も伝統文化も行事も色んなもんを残していかなあかん強く思い行動したから残ってきた街、それが京都やと思います。

最後に、ある書物に“歴史を忘れた民族は滅びる”と書かれています。私がかしている食育は悲しいかな、焼け石に水かもしれません。ただ誰かが水をかけておかないと石が本当に焼き切れてしまう気がして怖い。皆さんも地域に戻られたら子どもに孫に周囲の子に、日本の文化を、食事の大切さを伝えてあげてください。

◆ 西京区 土井 怜子さん (学生)

私は、高校時代まで、周囲に本好きが多かったためか、本に触れる機会が多くありました。

その中でも心に残っているものは、多々ありますが、「赤毛のアン」を特に選びたいと思います。アンは孤児として生まれましたが、アンの生き方や、考え方にとても心を打たれ、私もアンのように生きたいと考えさせられる本でした。

私は、アンの様に、明るく前向きに生き、いつかアンの舞台となったプリンス・エドワード島を訪れたいと考えています。



テーマ

「子どもの頃に
読んだ思い出の本」



お気に入りの本、
教えてください



◆ 中京区 松原 紘子さん (主婦)

「不思議の国のアリス」と「星の王子さま」を今でも時々取り出し眺めています。「アリス」は、幼い頃映画で見たディズニーの絵とばかり思い込んでいたのが、Penguin Booksのジョン・テニエルの絵を見て驚いたことを思い出します。「王子さま」は最初岩波少年文庫、次にPenguinで読みましたが、その後出版されたカラーのHarcourt版からいちばん優しさが伝わってくるような気がします。

空想好きのアリスと星の王子さま。まるで私のなりたい子の象徴でした。「子どもだったことを忘れずにいる」ことが、今、大人の私に強く響いてきます。



◆ 伏見区 岩淵 浩和さん (会社員)

絵本で一番に思い出すのは赤い表紙の『かばくん』です。私が大きくなりどこへ行ったのか解らず長い間、目にしていませんでした。図書館へ行くようになり『かばくん』を見つけた時は、特別な懐かしさと今も読み継がれている驚きがありました。その後、続編の『かばくんのふね』を見つけた時は嬉しくなり、すぐに借りていました。最近、3人の子どもに読み聞かせを行っていますが『かばくん』を読むときは特別な気持ちになります。子どもたちにも特別と思える絵本ができればと願っています。



◆ 南区 榊原 順子さん (主婦)

私が子どもの頃に読んだ思い出の本は「怪人20面相・少年探偵」シリーズ(江戸川乱歩著)です。小学校高学年の時、作者の名前に興味を持ち手にとりました。神出鬼没な怪人と、数々の謎に立ち向かう探偵との知恵比べに、ページをめくる手が止まらず、ミステリーって、なんて面白いのだろうと驚嘆。本に読みふけりました。読書好きになったのも、この本との出会いがあったからかもしれません。これからも、心弾む本に巡りあうことを楽しみにしています。



◆ 北区 山田 隆之さん (自営業)

『ビッグ・オーとの出会い〜続 ぼくを探しに』
20歳ごろにプレゼントされました。おとな向けの絵本だと思います。少し漢字が使われていますがうちの子どもも興味深く、ページをドンドン進めます。ページの割に文字数が少なく線画もシンプルなせいでしょ。当時はただの絵本だと思っていて、深い印象は残らなかったのですが、年を重ねるにつれて、哲学的内容に普遍性を感じてしまいます。今となっては、前向きな気持ちにさせてくれた、貴重な出会いのような気がします。



京図ものがたり vol.28

発行
平成24年3月

編集・発行
(公財)京都市生涯学習振興財団・京都市中央図書館
〒604-8401 京都市中京区聚楽廻松下町9-2
TEL 075-802-3133
<http://www.kyotocitylib.jp/>
<http://www.kyotocitylib.jp/i/>



KYOTO 2012
MARATHON
3月11日(日) 京都マラソン開催
大会当日はノーマイカーデー

子どもを共に育む
京都市民憲章



社会のあらゆる場で実践し、
行動の輪を広げましょう!

編集◆後◆記
「私とグリム」
今回、グリムを特集して、子どもの頃、白雪姫や赤ずきん、おおかみと七ひきの子やぎやヘンゼルとグレーテルなどの昔話を、それがグリムやぎやヘンゼルとグレーテル意識していませんでした。心躍らせて語ってもらったことを鮮やかに思い出しました。そして今、図書館に来てくれる子ども達にも、行事などでグリムの昔話を語って聞かせる時、目を輝かせて楽しんでくれます。グリム童話を含めた昔話にはどこか魔法のように不思議なところがある。子どもたちの心をとらえて離さないのだと思います。これからは、子どもたちと一緒に(そして大人も含めて)グリムを楽しんでいきたいです。(S)

グリム童話を調べていると、グリム兄弟の生涯はもちろぬ、農民から聞いた話でフランス系ユグノー派の子孫のドリ論争が巻き起こったという話など興味がある。そんな力にはまってみませんか。(K)

今よりずっと小さい頃、私はヘンゼルとグレーテルのお菓子の家に一度でいいから行ってみたい!と思っていました(みなさんもだ信じています)。二百年もの時間を経て、なお魅力的なお話の数々を集めたグリム兄弟。その素顔は意外にも(？)とっても真面目で努力家な二人でした。お兄さんのヤーコフが研究で大事にした考へは「学問の研究において、なにも価値のないものとして見捨てないこと」。どんな小さなこともおろそかにしない姿勢がグリム童話集やドイツ語辞典の出版へとつながったことに、身の引き締まる思いがしました。(T)